

令和2年度 第1回 会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 要旨

日時：令和2年10月8日（木）15：00～17：00

場所：会津若松市役所本庁舎3階会議室

1 開会（司会：観光商工部商工課 馬場主幹）

2 協議

- ・青木准教授が座長となり進行
- ・直近の話題等について情報交換した後、今年度の取組について協議

（発言要旨）

【直近の話題や今年度のこれまでの動きなどについて】

（新型コロナウイルス感染症の影響）※（以下 新型コロナウイルス感染症をコロナと表記）

- ・福島県による、無担保・利子補給付きの新型コロナウイルス対策資金について、10月に入り、利用者は少し落ち着いたようにも思うが、依然、市内企業の資金繰りは厳しい状況が続いていると思う。
- ・大手都市銀行で、週休3日・4日制度を導入という報道があったが、コロナ予防のための働き方の変化に即して行う面と、副業を推進する面もあるのではないか。
- ・今回のコロナによる影響で、売上が上がっている事業者と下がっている事業者が2極化している。
- ・コロナによる外出自粛の影響か、ペット関連の事業について創業の相談が増えている。
- ・コロナ対策としての国や県の制度が様々あり、事業者の方へ支援を行ってきた。また、Go to関連始め、県や市で多種多様なクーポンが出ており、特に飲食店関係者はその整理が大変である。
- ・イベントや会議などは、依然慎重な判断をしている所が多く、開催している所も少ない。
- ・国が制限を緩和して以降は、徐々にイベントも実施されているが、安全面を十分に考慮して実施している。
- ・コロナの影響でECサイトの需要が高まっている。事業者同士で連携し、『福島 困った市』を始めたところ、売上が順調に伸びている。
- ・今後は販売の面もそうだが、雇用・採用の面においても、デジタル化の波に乗ることも企業の存続に重要となってくる。

【コアメンバーについて】

- ・昨年度の会議で確認したとおり、基本的にはコアメンバーは継続する。
- ・今年度、人事異動等により、継続が困難な方については、後任の方、または新たに支援機関から推薦をいただき、コアメンバーとする。

【会津プロジェクト教育について】

- ・葵高等学校と連携していく。
- ・自分たちが考える計画は、どうしても自己中心的になるため、高校生の意見を聞くことができるのは、とても良い機会になるのでは・・・
- ・今後の会議に、葵高等学校で、授業に関わっているコーディネーターの方や先生に来ていただくのはどうか・・・

- ・コアメンバーの中で、すでに課題（項目）の1つに関わっている方も居ることから、実際に高校生と協議していく場面などを、メンバーが見学に行くことも良いのではないかと。
- ・高校の先生とお話する中で、教員を退職した後の、再就職についても、検討していくべきなのではないかと感じた。素晴らしい技術を長年培った方々なので、活躍の場を作ることで、より地域が活性化するのはのではないかと。
- ・これまでは、有効求人倍率が常に1倍を超える状況が続いてきており、企業からは人手不足の声が聞かれた。今後は、定年を迎えた方も、貴重な働き手の人材として、活躍できる環境づくりが重要になってくると思う。

【中小・小規模企業経営者・従業員の勉強会・交流会について】

- ・コロナの状況もあり、実施は困難か・・・
- ・未来会議には、経営者の方も居るので、今年度は安全面を最大限に考慮した方が良いのではないかと。
- ・オンラインの環境が整っていない方も居る。
- ・今年度は、開催を見送り、次年度以降実施していく。

令和2年度
会津若松市中小企業・小規模企業未来会議 コアメンバー

令和2年10月現在

所属・企業名	役職	氏名（敬称略）	備考	第2回 出欠
会津大学短期大学部 産業情報学科	准教授	青木 孝弘		出
松浦商事 株式会社	代表取締役社長	松浦 健典	会津若松商工会議所 推薦	出
株式会社 三義漆器店	代表取締役	曾根 佳弘	県中小企業家同友会 会津地区 推薦	出
TAKLAM	代表	遠藤 和輝	公益財団法人 会津青年会議所 推薦	出
会津若松商工会議所	企業振興課 課長補佐	築取 幸弘		出
あいづ商工会	事務局長	福島 正博		出
福島県中小企業団体中央会 会津事務所	所長	堀 和弘		出
会津信用金庫	本店営業部長	渡部 勝敏		出
会津商工信用組合	融資部・地域支援課 顧問 次長	武田 義幸 藤巻 正義		出
会津若松市観光商工部商工課	課長	長谷川 陽一		出